

支給事例を掲載しております。ただし、支給要件が変更になる可能性もございます。

事例1 POS レジの導入による業務効率化

【事業の種類】 飲食業 【従業員数】 7人

客の支払方法（現金、電子マネー等）により対応可能なレジが異なるため、操作誤りやレジ待ちが多発していた。売上データもレジ毎に集計した上で合計しなければならず時間を要していた。

POS レジを導入することで、会計時の処理が円滑になるだけでなく、売上データも一元管理可能となり売上管理に要する時間が短縮された。

事例2 社内ラベル発行/出荷照合システムの導入による業務効率化

【事業の種類】 製造業 【従業員数】 71人

出荷表と在庫製品に張られた QR コードは共通しているが、客先ラベルは共通ではないため、客先ラベルとピックアップされた製品の確認は出荷準備の際の目視確認と積み込み確認の際の目視確認によるダブルチェックで行っていたが、製品数が多く、時間を要し出荷準備に時間がかかり、また、間違いが見過ごされて出荷されることもあった。

出荷表、社内用製品ラベル、客先ラベル、全てのコードを読み取れるシステムの導入により、目視による確認に要していた時間が短縮され、出荷ミスもなくなり、再出荷のための時間、費用が削減された。

事例3 福祉車両の導入による業務効率化

【事業の種類】 介護福祉事業 【従業員数】 11人

利用者の送迎に一般車を使用しており、車いす使用の利用者を乗降者する際には2人から3人の人員が必要となるほか、乗車の際に利用者一人当たり30分ほど時間を要しており、数名の送迎に往復で4時間ほど時間がかかっていた。

福祉車両（車いす仕様車）を導入することにより、車いすに乗った状態の利用者を乗降車せることが可能となり、人員も1人から2人で行うことができ、送迎に要する時間も削減することが出来た。

事例4 食品表示シール印刷機の導入による業務効率化

【事業の種類】 小売業 【従業員数】 13人

現在、新商品や商品の規格変更に伴う食品表示シールの作成に、ラベルプリンターの専

用機の小さい画面に手入力しているため、商品設定に時間を要している。

食品表示シールプリンターを高性能の機種に変更することで、パソコンやスマートフォンから情報を送信できるようになり、設定時間の短縮が図られ、生産現場での負担が軽減される。